

## SAQR16番外編 & SAQR18予告編「巖道か県道か、道志よう？」 コースガイド

SAQR16の舞台だった愛川地区と宮ヶ瀬湖、これにいつか使いたいと思っていた巖道峠、そしてドライブラニー未使用の厚木を組み合わせたコースレイアウトを考えたのは昨年12月のこと。年明けには試走もほぼ終えていたにもかかわらず公開が遅れたのは、通行止め1ヶ所、橋の架け替え2ヶ所、CP場所の閉鎖(リニューアル工事)1ヶ所、さらには2月の積雪がなかなか消えなかったこと、が原因。ようやくほぼ解消し、1ヶ月遅れの公開となります。今回最大の難所である巖道峠への道は、狭くて落石も多いので別ルートを選択可能とせざるを得ず、なるべくどちらを選んでも公平さが損なわれないよう工夫しました。無理をせず、車両や経験に合わせてルートを選択してください。

### S-1 CP

スタートは厚木市「ぼうさいの丘公園」。駐車場は数か所あるが、唯一9時前に開場される「西側第3駐車場」にSCPを置いた。管理事務所によると、7時40分頃に開場するとのこと。

スタート後しばらく続く市街地を抜け4回を左折すると、いきなり広がる田園風景に驚く。ここにODを置いた。



1CPは**アツギミュージアムホテル**。御年90歳の女将が営むアットホームな旅館。全国の民芸品数千点の展示に圧倒されるが、女将がコツコツと集めたものだという。猪料理が自慢で、狩猟解禁期間に仕入れたものを9月頃まで提供。若い猪を使っているので柔らかくて臭みもなく、猪肉のイメージが変わる。天然猪肉の味噌焼き膳(写真右下、1945円)がお薦め。

046-241-4018  
P有り  
11:30-13:30  
17:30-19:30



### 1-3 CP

1CPの奥へ続く道は本郷街道といい、趣のある道なのだが、先で狭くなり大きい車は取り回しが難しそうなので採用を諦め、折り返しスタートとした。2CPの先、12~13回間は、周囲の風景からは違和感のある整備された道。その必要性が分からないが、直線が多く快適に走行できる。



3CPは一昨年のSAQR16本戦でもCPを置いた**卵菓屋**。実は紹介したいもの多数。卵かけご飯(200円)や、きいろいソフト(Sサイズ140円)など値段が安い。一押しはオムライス(600円)で、酸味の効いたデミグラスソースと卵がよく合っている。簡易容器なので持ち運ぶ際は汁垂れに注意。途中で硬さが変わるプリン(230円)も面白い。

046-281-1082 P有り、定休なし8:00-18:00

### 3-4 CP

16図にある馬渡橋の掛替工事が遂に完成。以前はすれ違いができなかったが、6年越しの工事で今年2月17日に開通した。ちなみに、試走車は架け替え後に距離計測しているのでご安心を。

4CPを置いた塩川滝は、駐車場までの道のりが狭くワンデーイベントでは使用できなかったが、ようやくDRに登場させることができた。昔から修験の場所だったらしいが、試走時に実際の滝修行に遭遇した。



### 4-6 CP

4CPを出てすぐ県道に復帰し、しばし街中を走行し宮ヶ瀬湖を目指す。直線的に向かうルートがないので、南下して大回りするしかない。その途中で道の駅清川に寄り5CPとした。実は清川村は神奈川県唯一の村であり、その行政施設が集まっているところに道の駅がある。以前は清流の里という施設だったが、2015年11月から道の駅になった。設置されている看板に関しクイズ2問を置いたが、Q-Kは難問で、リサーチ力と推理力が必要。

6CP手前600mの地点に湖畔に張り出すように店を構える**カフェオギッソ**。店主がこだわりぬいた珈琲とサンドとケーキ。宮ヶ瀬湖を望む絶好のロケーションと共に。6CPで距離計測後に戻ってでも立ち寄りたい。特にお薦めは、薫風(水出しアイス珈琲、右の写真、この大きな氷！)。ケーキ各種も丁寧な仕上げに感動すら覚える。品切れで早めに閉店することも多いので注意。



**046-280-4715**  
P有り  
月火定休  
11:30-16:00  
(土日は11:00から)



6CPは大棚橋広場に置いたが、駐車台数に限りがある。冬場は空いているが、今回の公開期間ではやむなく出題を見送りCPだけにした。8:00開門17:00閉門。

### 6CP-ルート分岐点

宮ヶ瀬湖から道志を目指すトランスポート区間。途中、以前紹介したオレンジツリー(ログハウスレストラン)やとんちき亭(高座豚の溶岩焼き)を通るが、今回は取り上げずに先を急ぐことにする。27図から28図まで道志みちをしばらく走行し、8CPの少し先の29図地点でルート選択となる。左折すると巖道ルートで、野原林道を上り巖道峠を越える険しい道程で、上級者向き。右折すると県道ルートだが、こちらカーブは多いのでいずれにせよ注意して走行されたい。

- 巖道ルート注意点(9CP～巖道峠):カーブミラーが殆どない、道幅が狭くすれ違いが困難、全域舗装だが落石が散乱
- 県道ルート注意点:Q-Pを解答できないため、巖道ルート選択者の平均減点(切上)を適用、巖道ルートより距離が長い

なおルートが別れている区間(29図分岐点～33図合流点)にQ-Xの出題はない

## 巖道ルート



←巖道峠への道には落石が多い。道幅もこんな感じ。

巖道峠は、その昔は強盗坂と呼ばれたことに由来し、秋山村と道志村の文化・経済の交流のために開通されたもの。その名の通り険しい道が続く。対向車には十分注意が必要で、運が悪いとすれ違いのためによりバックすることになるかも。峠を越えるとやや走りやすくなる。やがて人里が現れ程なく33図となる。

## 県道ルート

県道なのですれ違いで苦勞することは殆どないが、山間部ではあるのでカーブは多く、交通量が多いので注意が必要なことには変わりはない。32図～9CP付近は、実はゴール直前にもう一度通る道でもあるが(全体図を見れば明らか)、ここは先を急いでもらうこととし、幾つかの集落を通過して33図が現れ(見落とし注意)、巖道ルートと合流となる。

## 10-FCP

33図で両ルートが合流し、更に林道を上っていくが、巖道峠に比べると走りやすい。途中金網フェンスが頻繁に登場するが、リニア新幹線の工事現場となっている。

35図からはゴールを目指す県道。その途中にQ-Rを置いたが、ここは14年前のSAQR本大会で出題した大きな手書きのイラストマップがあった。それが上野原市に編入されて財政が改善したのか、立派な看板に置き換わっていた。今回はその隣にある民話の看板からの出題なのだが、14年前と同じパターンの間違いをネタにした点が面白い。

ゴールの秋山温泉は、源泉掛け流しがあるがやや料金が安い(750円)。17時以降は400円と割安になるのでおすすめ。今回はいつもより距離が長めだった上に、特に後半は山道も多かったので、お疲れのところ気を付けて帰って下さい。

## 参考プラン

### ■いのしし料理を優先

11:00 スタート → 11:30 アツギミュージアム到着、猪料理を堪能  
12:30 アツギミュージアム出発 → 卵菓屋でデザートタイム  
17:00 ゴール

### ■カフェオギツ目当て

9:00 スタート → 10:00 卵菓屋で軽く腹ごしらえ  
10:30 卵菓屋を出発 → 12:30 6CP到着、戻ってカフェオギツで軽食かデザート+珈琲  
13:30 6CPから再スタート → 16:30 ゴール

### ■走りに徹するが温泉は入る

11:30 スタート  
15:00 29図で巖道ルート選択  
17:00 ゴール、割引料金で温泉入浴